

Por um futuro melhor



どの子の未来も明るくなりますように！ フラジル通信 No.14 2018.11.5 学校教育課 鳥山徳子

朝食は「Café de manhã」昼食は「Armoço」夕食は「Jantar」

⑪ 10月23日(火) PEDRO REAL 学校訪問(二部制) ⇔ 石巻小学校



教師は子どもが好き。それが1番です。教育について、先生方みんなと話すようにしています。

毎朝集会を行い、ORIENTDOR が子どもたちに、「先生の言うことを聞きましょう。けんかをしないようにしましょう」と話しています。それから、親がもっと学校に来てほしいと思っています。学校にもっと協力してほしいです。今の親は呼んでも来ないし、宿題もみてくれません。会議への出席率もとても低く、毎回60%程度しか来ません。



★H24(2012年)研修員マリア・ホーザ先生(社会)の勤務校

※時間不足のため聞き取りが不十分で終わってしまいましたが、先生方の雰囲気がとてもよかったです。日本の教育や大統領選挙などについて話をしましたが、一番盛り上がったのはダイエットの話でした。「日本の先生は、1日1回しか食べないから、みんなスマートです」とホーザ先生が皆さんに伝えていました。

ヘッジーナ校長
(2年目)
・児童数 400人
(特別支援 4人)
・学級数 16学級
(午前8+午後8)
・教員数 34人
(午前・午後各17)
・IDEB 6.7



私たち4人ともダイエット中だから、家からフルーツを持ってきているんですよ！
(ホーザ先生は左から4人目)

注目！

先生方が休憩中に食べるおやつです。砂糖の入った甘いコーヒーや紅茶とともに食べます。よく見ると、豊橋市の手ぬぐいが、テーブルクロスとして敷かれていました！粋ですね！



⑫ 10月23日(火) SANTA TERESINHA 学校訪問(二部制) ⇔ 植田小学校

私立に勤めた経験を生かして、先生方のプロジェクトをもっとやっていきたいと考えています。具体的には、国語や算数の指導方法がまだ不十分なので、よりよいものにしていきたいです。

この地域は、家庭の協力はあまり得られません。春祭り(学校行事)の際も椅子を並べるのに、手伝いに来た保護者には謝礼を支払いました。学校に必要なものなどは持たせてくれますが、会議などへの参加率は40%程度で、行事への参加率も70%とかなり低いです。親は学校に対して、「歯医者に連れて行ってくれ」「ちゃんと勉強を教えてくれ」ということを連絡帳に書いてくるので、本当に困っています。



※H22 研修員アンジェラ先生、H23 研修員シルマー先生、H30 研修員アドリアーナ先生 3人の勤務校です。

★全学年がダンス(春祭りで披露)を発表してくれました。

★Supervisor が子どもたちの前で、「日本は先生を大切にしていますよね？」と私に尋ねたので、「はい」と答えた後で、私から子どもたちに、「皆さんも先生を大切にしていますよね？」と尋ねると、「はい」と答えました。Supervisor は「うそを言わないで！」と笑いながら言っていました。気になったので、校長先生に「どの学校でも子どもたちは先生を大切にしていないと聞きますが、どういうことですか？」と尋ねたところ「先生を大切にしない」とは「先生の言うことを聞かない」ということだと分かりました。「先生」の社会的地位が低いブラジルでは、子どもに言うことを聞かせるのは難しいことなのかもしれません。



ライーデ校長(2年目)
・児童数 352人
(特別支援 12人)
・学級数 13学級
(午前8+午後5)
・教員数 16人
(午前10+午後6)
・IDEB 7.1



Por um futuro melhor



どの子の未来も明るくなりますように！

フラジル通信 No.15

2018.11.5

学校教育課 鳥山徳子

今週は、**Chuva(雨)**と**暴風**で、木がたくさん倒れました。学校も停電しました。

⑬ 10月24日(水) JAYME CANET 学校訪問(全日制) ⇄ 新川小学校



パネッサ校長
(6年目) ※教育局推薦
・児童数 266人
(特別支援 0人)
・学級数 9学級
・教員数 ?人
(午後も4人の
先生が配置)
・IDEB 8.3

年度当初に教育局が来て話をしたことを私から先生方に伝えます。また、ここで働いている大学生にも話し、共通理解を図っています。①制服で来ること ②時間を守ること ③テストに向けて勉強をすることなどについて先生方を通して、毎日子どもたちに伝えていきます。なぜそれを守らないといけないのかを子どもたちがわかっているのです、今は、しっかりと守りを守ることができるようになりました。また、毎日遅刻者を把握し、家庭へ連絡しています。ブラジル人は規律を守る習慣がありませんが、家族に言い続けてきた結果、今は家族もそれを守るようになり、私のことも信頼してくれています。

★子どもたちには、「しゃべらず聞きなさい。きれいにしなさい。廊下が狭いので、手を後ろに組んで歩きなさい」などについて日々伝えているというだけあり、どの教室でも私や友達の話の静かに聞くことができました。また、食堂への移動も整然としており、手を後ろに組む約束もみんな守っていました。



★家庭への連絡の工夫として、会議などのお知らせは門などに貼り、知らなかったということのないようにしているそうですが、それでも4・5年生は60%程度しか出席してもらえないということでした。

パラナヴァイ市の学校では、みんな手を挙げる時は、こうします。豊橋市では、「質問」のハンドサインとして使われることが多いですね。

★毎年11月に行われる「算数マラソン大会」には各学校から5年生3名が出場します。昨年は3名全員が10位以内に入賞したそうです。IDEBの数値も高いです。



⑭ 10月25日(木) MARIA SCHUEROFF BACK 学校訪問(二部制) ⇄ 羽根井小学校



ヴェラルーシア校長
(6年目・写真左端)
・児童数 174人
(特別支援 0人)
・学級数 7学級
・教員数 9人
・IDEB 8.4
(市内1位)

3人(校長・S・O)で力を合わせて6年間努力を積み重ねてきた結果、今回の順位(IDB)結果があります。1年生からきちんと勉強を積み重ねていくことが大切です。また、IDEBの前には、週に1回2時間程度ですが、午後から5年生の子どもたちを呼んで、校長が算数、Sが国語の補習を行いました。Sは、普段から教室に入り、授業参観をし、先生方に教え方の助言をしてくれています。先生の指導計画のノートを点検し、助言も行います。テストの内容(テストは先生が自作)もすべてチェックしています。

家庭の協力は100%あると言えます。会議にも100%出席してくれます。ただ、昨年くらいから、子どものしつけのことで親を呼んで話すと、気に入らない親も出てきてきて心配しています。 S:supervisor O:orientador

★市のはずれの学校(中心部から20kmくらい)で、オレンジやマンジョーカ芋などの農業、酪農などを行っている家庭が多く、雨が降ると、バスが通れなくなってしまう道があり、学校に行きたくても行けない子どももいるそうです。

★教育局から依頼されるプロジェクトが多く負担になっているという話を聞きました。

教科に絡めてやるようにしているそうですが、それは建前で、勉強時間が削られているということでした。交通関係・テレビ局・新聞社などから教育局長にプロジェクトの依頼があり、各学校は数か月間取り組み、その成果を発表するそうです。



みんなで折り紙をしました！